

混雑状況を考慮した列車手配の意思決定を支援

概要

在来線の列車位置情報や遅れに加えて、混雑率をリアルタイムに地図上に表示することで、列車の正確な状況把握が俯瞰的に可能になり、乗客の影響を考慮した、的確な運転整理が実現できます。

特長

首都圏在来線の列車の混雑と遅れを地図上にリアルタイムに表示

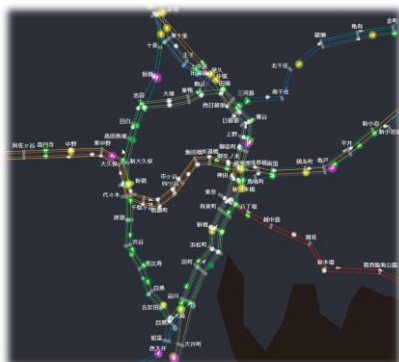
混雑状況

応荷重装置の荷重値から算出。混雑状況を把握することで、乗客視点での運転整理が可能。

位置情報・遅延情報

車両モニターシステムの走行距離データを活用。GPSなどの設備投資なしで詳細の位置を取得。

列車状況を直感的に把握できる色表示



広域表示:混雑を強調



詳細表示:遅延を強調

また、過去の運転データを基に、指定した日付の運転状況をアニメーションで再生可能。大雪や大規模な輸送障害時の運転整理を評価することで、運転整理技術の向上にも寄与します。

課題

輸送障害発生時の運転整理において乗客の影響を正確に把握したい

- ダイヤの平復の早期化が第一目標になっている
- 乗客の影響への考慮は指令員の経験や勘に依存している

解決策

- 首都圏在来線における各列車の位置情報、遅延情報・混雑状況をリアルタイムに見える化することで、列車の行き先変更、列車運転間隔の調整など、タイムリーな意思決定を支援。
- 応加重装置から乗車人員を算出して、混雑状況も見える化。混雑している列車の優先運行や停車時間の調整など、混雑状況を考慮した運転整理を可能とします。

効果

- 指令員の経験則に頼らない、最適な運転整理の意思決定の支援
- 乗客視点に立った質の高い輸送サービスによる、顧客満足度の向上

- 本カタログリーフレット中の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

株式会社 日立製作所

社会システム事業部 交通情報システム本部

〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目27番18号（日立大森第二別館）

■ 社会情報システムサイト <https://www.hitachi.co.jp/products/it/society/>

■ Webでのお問い合わせ <https://www.hitachi.co.jp/society-inq/>

お問い合わせ件名：『交通分野に関するお問い合わせ』を選択ください。